

注3

大学番号：069

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

香川大学大学院農学研究科 応用生物・希少糖科学専攻（修士課程）

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 香川大学  
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 農学部事務課

職名・氏名 課長補佐 藤沢 教子

電話番号 087-891-3004

（夜間） 087-891-3004

F A X 087-891-3021

e-mail ajimth@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 農学研究科

＜応用生物・希少糖科学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	39

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 香川大学

## (2) 大学名

香川大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒761-0795  
香川県木田郡三木町大字池戸2393番地  
(〒761-8521  
香川県高松市幸町1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(カヒ ヨシキ) 笥 善行 (平成29年10月)		
理事	(ヤマシタ トシキ) 山下 明昭 (平成29年10月)	(イマイダ カツミ) 今井田 克己 (平成31年4月)	辞任に伴い 平成31年4月1日交代 (元)
研究科長	(フカイ セイイチ) 深井 誠一 (平成29年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)  
令和元年度に報告する内容 → (元)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。)
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生』を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学研究科 応用生物・希少糖科学専攻 修士(農学)	農学関係	2年	60人	0人	120人	基礎となる学部等 農学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	60人	人	60人	人	0.99倍	— 倍	(※1) 平成30年10月入学 (※2) ・日本の食の安全特別コース 入学試験時期/1~2月の1次及び2次審査により3月に合格発表(令和元年10月に4名入学予定) 入学時期/10月 ・アジア・アフリカ・環太平洋(AAP)留学生特別コース 入学試験時期/6月書類審査及び面接により6月に合格発表 入学時期/10月 ・ダブルディグリープログラム(チェンマイ大学農学研究科・農産学研究科) 入学試験時期/7月中~下旬、書類審査及び口頭試問により9月に合格発表 入学時期/10月
志願者数	61 ( - ) [ 2 ]	21 (※1) ( - ) [ 20 ]	58 ( - ) [ 1 ]	11 (※2) ( - ) [ 11 ]			
受験者数	60 ( - ) [ 2 ]	20 (※1) ( - ) [ 19 ]	58 ( - ) [ 1 ]	11 (※2) ( - ) [ 11 ]			
合格者数	59 ( - ) [ 2 ]	9 (※1) ( - ) [ 9 ]	55 ( - ) [ 1 ]	4 (※2) ( - ) [ 4 ]			
B 入学者数	57 ( - ) [ 2 ]	9 (※1) ( - ) [ 9 ]	53 ( - ) [ 1 ]	( - ) ( - ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.10		0.88				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみに記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		令和元年度		備 考
	平成30年度	令和元年度	春季入学	その他の学期	
1年次	57 [ 2 ] ( - )	9 (※) [ 9 ] ( - )	53 [ 1 ] ( - )	9 (※) [ 9 ] ( - )	(※)平成30年10月入学
	2年次	/		57 [ 2 ] ( - )	
計				66 [ 11 ] ( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	66 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	119 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{66} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{119} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<農学研究科応用生物・希少糖科学専攻>

(1) -① 授業科目表

**【認可時又は履出時】**

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任 取組	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 盤 科 目	基礎科目	1前 1前 1後	1 1 1			1 1 1					1	
	希少糖共通科目	希少糖イノベーション	1前	1			1					1
		希少糖植物科学特論	1後	1	1		2					
		希少糖応用生命科学特論	1後	1	3		3		1			4
		希少糖食品科学特論	1後	1	3		3					1
	展開科目	応用生物科学先端科学セミナー	1-2通	1	1		1					
		修士インターンシップ	1-2通	1	32		22		8			
		国際修士インターンシップ	1-2通	1	32		22		8			
		アドバンス国際研究コミュニケーション	1後	1								1
	国際研究実践コミュニケーション	1-2通	1			32	22		8			
小計(12科目)	-	4	8		108	69		25			8	
専 攻 科 目	希少糖先端科学 科目群	希少糖生産工学特論Ⅰ	1-2前	1			1					
		希少糖生産工学特論Ⅱ	1-2後	1			1					
		希少糖植物化学特論	1-2後	1	2		1					1
		希少糖ビジネス特論	1-2後	1			1					3
	希少糖バイオロジー特論	1-2前	1								4	
	希少糖生産工学実習	1-2後	1			3						
	農業生産科学 科目群	作物生産学特論Ⅰ	1-2前	1			1					
		作物生産学特論Ⅱ	1-2後	1			1					
		動物生産科学特論Ⅰ	1-2前	1			1		1			
		動物生産科学特論Ⅱ	1-2後	1			1		1			
		農業経営経済学特論Ⅰ	1-2前	1			1					1
		農業経営経済学特論Ⅱ	1-2後	1			1					
		生産環境物理学特論	1-2前	1			1					
		資源植物利用学特論Ⅰ	1-2前	1			1					
		資源植物利用学特論Ⅱ	1-2後	1			1					
		環境生物科学 コース	園芸資源開発学特論Ⅰ	1-2前	1			1				
	園芸資源開発学特論Ⅱ		1-2後	1			1					
	園芸資源生産学特論Ⅰ		1-2前	1			1					
	園芸資源生産学特論Ⅱ		1-2後	1			1					
	園芸資源利用学特論Ⅰ		1-2前	1			1					
	園芸資源利用学特論Ⅱ		1-2後	1			1					
	環境科学 科目群	海洋科学特論Ⅰ	1-2前	1			1					
		海洋科学特論Ⅱ	1-2後	1			1					
		浅海生産環境学特論	1-2前	1			1					
		生物地球化学特論	1-2後	1			1					
		環境生態学特論Ⅰ	1-2前	1			1					
		環境生態学特論Ⅱ	1-2後	1			1					
		土壌環境学特論Ⅰ	1-2前	1			1			1		
		土壌環境学特論Ⅱ	1-2後	1			1			1		
	生物化学・ 食品科学 コース	天然物化学特論Ⅰ	1-2前	1			1					
天然物化学特論Ⅱ		1-2後	1			1						
ケミカルバイオロジー特論Ⅰ		1-2前	1			1						
ケミカルバイオロジー特論Ⅱ		1-2後	1			1						
植物機能生化学特論		1-2前	1			1						
バイオマス化学特論Ⅰ		1-2前	1			1						
バイオマス化学特論Ⅱ		1-2後	1			1						
生物物理化学特論		1-2後	1			1						
食品分子機能化学特論Ⅰ		1-2前	1			1			1			
食品分子機能化学特論Ⅱ		1-2後	1			1			1			
生命機能科学 科目群	食品栄養生理学特論	1-2前	1			1						
	食品タンパク質機能学特論	1-2後	1			1						
	食品衛生学特論	1-2前	1			1						
	食品物理学・食品工学特論Ⅰ	1-2前	1			1						
	食品物理学・食品工学特論Ⅱ	1-2後	1			1						
	分子細胞生物学特論Ⅰ	1-2前	1			1						
	分子細胞生物学特論Ⅱ	1-2後	1			1						
	応用微生物学特論Ⅰ	1-2前	1			1						
	応用微生物学特論Ⅱ	1-2後	1			1						
	微生物生理学特論	1-2前	1			1						
植物ゲノム科学 科目群	応用酵素化学特論Ⅰ	1-2前	1			1						
	応用酵素化学特論Ⅱ	1-2後	1			1						
	分子植物ストレス応答学特論Ⅰ	1-2前	1			1						
	分子植物ストレス応答学特論Ⅱ	1-2後	1			1						
	植物細胞分子生物学特論	1-2前	1			1						
	分子植物病理学特論Ⅰ	1-2前	1			1						
	分子植物病理学特論Ⅱ	1-2後	1			1						
	分子植物栄養学特論	1-2前	1			1						
	分子植物育種学特論	1-2後	1			1						
	専攻セミナー	1前 1後 2前	1 1 1			32 32 32	22 22 22		8 8 8			

**【令和元年度】**

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任 取組	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 盤 科 目	基礎科目	1前 1前 1後	1 1 1			1 1 1					1	
	希少糖共通科目	希少糖イノベーション	1前	1			1					1
		希少糖植物科学特論	1後	1	1		2					
		希少糖応用生命科学特論	1前	1	3		3		1			3
		希少糖食品科学特論	1前	1	4		4		2			1
	展開科目	応用生物科学先端科学セミナー	1-2通	1			1					
		修士インターンシップ	1-2通	1	34		23		5			
		国際修士インターンシップ	1-2通	1	34		23		5			
		アドバンス国際研究コミュニケーション	1後	1								1
	国際研究実践コミュニケーション	1-2通	1			34	23		5			
小計(12科目)	-	4	8		115	72		15			7	
専 攻 科 目	希少糖先端科学 科目群	希少糖生産工学特論Ⅰ	1-2前	1			1					
		希少糖生産工学特論Ⅱ	1-2後	1			1					
		希少糖植物化学特論	1-2後	1	2		1					1
		希少糖ビジネス特論	1-2後	1			1					3
	希少糖バイオロジー特論	1-2前	1								4	
	希少糖生産工学実習	1-2後	1			1	2					
	農業生産科学 科目群	作物生産学特論Ⅰ	1-2前	1			1					
		作物生産学特論Ⅱ	1-2後	1			1					
		動物生産科学特論Ⅰ	1-2前	1			1		1			
		動物生産科学特論Ⅱ	1-2後	1			1		1			
		農業経営経済学特論Ⅰ	1-2前	1			1					1
		農業経営経済学特論Ⅱ	1-2後	1			1					
		生産環境物理学特論	1-2前	1			1					
		資源植物利用学特論Ⅰ	1-2前	1			1					
		資源植物利用学特論Ⅱ	1-2後	1			1					
		環境生物科学 コース	園芸資源開発学特論Ⅰ	1-2前	1			1				
	園芸資源開発学特論Ⅱ		1-2後	1			1					
	園芸資源生産学特論Ⅰ		1-2前	1			1		0			1
	園芸資源生産学特論Ⅱ		1-2後	1			1					
	園芸資源利用学特論Ⅰ		1-2前	1			1					
	園芸資源利用学特論Ⅱ		1-2後	1			1					
	環境科学 科目群	海洋科学特論Ⅰ	1-2前	1			1					
		海洋科学特論Ⅱ	1-2後	1			1					
		浅海生産環境学特論	1-2前	1			1					
		生物地球化学特論	1-2後	1			1					
		環境生態学特論Ⅰ	1-2前	1			1					
		環境生態学特論Ⅱ	1-2後	1			1					
		土壌環境学特論Ⅰ	1-2前	1			1		1		0	
		土壌環境学特論Ⅱ	1-2後	1			1		1		0	
	生物化学・ 食品科学 コース	天然物化学特論Ⅰ	1-2前	1			1					
天然物化学特論Ⅱ		1-2後	1			1						
ケミカルバイオロジー特論Ⅰ		1-2前	1			1						
ケミカルバイオロジー特論Ⅱ		1-2後	1			1						
植物機能生化学特論		1-2前	1			1						
バイオマス化学特論Ⅰ		1-2前	1			1						
バイオマス化学特論Ⅱ		1-2後	1			1						
生物物理化学特論		1-2後	1			1						
食品分子機能化学特論Ⅰ		1-2前	1			1		0	1		0	
食品分子機能化学特論Ⅱ		1-2後	1			1		1			0	
生命機能科学 科目群	食品栄養生理学特論	1-2前	1			1						
	食品タンパク質機能学特論	1-2後	1			1						
	食品衛生学特論	1-2前	1			1						
	食品物理学・食品工学特論Ⅰ	1-2前	1			1						
	食品物理学・食品工学特論Ⅱ	1-2後	1			1						
	分子細胞生物学特論Ⅰ	1-2前	1			1						
	分子細胞生物学特論Ⅱ	1-2後	1			1						
	応用微生物学特論Ⅰ	1-2前	1			1		1		0		
	応用微生物学特論Ⅱ	1-2後	1			1						
	微生物生理学特論	1-2前	1			1						
植物ゲノム科学 科目群	応用酵素化学特論Ⅰ	1-2前	1			1						
	応用酵素化学特論Ⅱ	1-2後	1			1						
	分子植物ストレス応答学特論Ⅰ	1-2前	1			1						
	分子植物ストレス応答学特論Ⅱ	1-2後	1			1						
	植物細胞分子生物学特論	1-2前	1			1						
	分子植物病理学特論Ⅰ	1-2前	1			1						
	分子植物病理学特論Ⅱ	1-2後	1			1						
	分子植物栄養学特論	1-2前	1			1						
	分子植物育種学特論	1-2後	1			1						
	専攻セミナー	1前 1後 2前	1 1 1			34 34 34	23 23 23		5 5 5			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教員数	准教授	講師	助教	助手			
専攻科目	修士研究 I	1前	3			32	22		8				
	修士研究 II	1後	3			32	22		8				
	修士研究・論文	2前	3			32	22		8				
	修士研究 III	2前	3			32	22		8				
	修士研究 IV	2後	3			32	22		8				
	修士論文	2後	2			32	22		8				
	国際研究	国際研究A	1・2選		5		32	22		8			
		国際研究B	1・2選		8		32	22		8			
	実践研究	実践研究	1・2選				32	22		8			
		実践研究	1・2選				32	22		8			
小計(71科目)			-	17	81	389	268		95		8		
合計(83科目)			-	21	89	497	337		120		16		
卒業要件及び履修方法													
基盤科目のうち基礎科目必修科目3単位、希少糖共通科目（必修科目1単位を含み2単位以上 ※希少糖先端科学コースのみ必修科目を含み4単位）、展開科目選択1単位以上、専攻セミナー（3単位）、専門科目（コース指定4単位を含み7単位以上 ※希少糖先端科学コースのみコース指定4単位を含み5単位以上）、研究科目（14単位）、合計30単位以上修得すること。 ※なお、その他の専門科目として特別コースの専門科目を履修することができる。													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教員数	准教授	講師	助教	助手			
専攻科目	修士研究 I	1前	3			34	23		5				
	修士研究 II	1後	3			34	23		5				
	修士研究・論文	2前	3			34	23		5				
	修士研究 III	2前	3			34	23		5				
	修士研究 IV	2後	3			34	23		5				
	修士論文	2後	2			34	23		5				
	国際研究	国際研究A	1・2選		5		34	23		5			
		国際研究B	1・2選		8		34	23		5			
	実践研究	実践研究	1・2選				34	23		5			
		実践研究	1・2選				34	23		5			
小計(71科目)			-	17	81	413	278		57		9		
合計(83科目)			-	21	89	528	350		72		16		
卒業要件及び履修方法													
基盤科目のうち基礎科目必修科目3単位、希少糖共通科目（必修科目1単位を含み2単位以上 ※希少糖先端科学コースのみ必修科目を含み4単位）、展開科目選択1単位以上、専攻セミナー（3単位）、専門科目（コース指定4単位を含み7単位以上 ※希少糖先端科学コースのみコース指定4単位を含み5単位以上）、研究科目（14単位）、合計30単位以上修得すること。 ※なお、その他の専門科目として特別コースの専門科目を履修することができる。													

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任、兼担		
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	科学研究リテラシー	1前	1			1						
	ベリック国際研究コミュニケーション	1前	1								1	
	応用生物学クロストークセミナー	1後	1			1						
	希少糖共通科目	希少糖イノベーション	1前	1			1					1
		希少糖植物科学特論	1後	1	1		2					
		希少糖応用生命科学特論	1前	1			3		1			3
		希少糖食品科学特論	1前	1			4	2				1
	展開科目	応用生物学先端科学セミナー	1-2通	1			1					
		修士インターンシップ	1-2通	1			33	20		8		
		国際修士インターンシップ	1-2通	1			33	20		8		
アドバンス国際研究コミュニケーション		1後	1			1					1	
国際研究実践コミュニケーション	1-2通	1			33	20		8				
小計(12科目)			4	8		112	62		25		7	
専攻科目	希少糖指定先端科学	希少糖科学科目群	希少糖生産工学特論Ⅰ	1-2前	1		1					
			希少糖生産工学特論Ⅱ	1-2後	1							
			希少糖物性化学特論	1-2前	1		2	1				1
			希少糖ビジネス特論	1-2後	1		1					3
			クライコバイオロジー特論	1-2前	1							4
			希少糖生産工学実習	1-2後	1		1	2				
	環境生物科学コース	農業生産科学科目群	作物生産学特論Ⅰ	1-2前	1		1					
			作物生産学特論Ⅱ	1-2後	1							
			動物生産科学特論Ⅰ	1-2前	1		1		0			
			動物生産科学特論Ⅱ	1-2後	1		1			1		
			農業経営経済学特論Ⅰ	1-2前	1		1					
			農業経営経済学特論Ⅱ	1-2後	1		1					
			生産環境物理学特論	1-2前	1		1					
			資源植物利用学特論Ⅰ	1-2前	1		1					
		資源植物利用学特論Ⅱ	1-2後	1		1						
		園芸科学科目群	園芸資源開発学特論Ⅰ	1-2前	1		1					
			園芸資源開発学特論Ⅱ	1-2後	1		1					
			園芸資源生産学特論Ⅰ	1-2前	1		0					1
			園芸資源生産学特論Ⅱ	1-2後	1		1					
			園芸資源利用学特論Ⅰ	1-2前	1		1					
	園芸資源利用学特論Ⅱ		1-2後	1		1						
	環境科学科目群	海洋科学特論Ⅰ	1-2前	1			1					
		海洋科学特論Ⅱ	1-2後	1		1						
		浅海生産環境学特論	1-2前	1		1						
		生物地球化学特論	1-2後	1		1						
		環境生態学特論Ⅰ	1-2前	1		1						
		環境生態学特論Ⅱ	1-2後	1		1						
		土壌環境学特論Ⅰ	1-2前	1		1				1		
		土壌環境学特論Ⅱ	1-2後	1		1				1		
	生物化学・食品科学コース	生物分子化学科目群	天然物化学特論Ⅰ	1-2前	1		1					
			天然物化学特論Ⅱ	1-2後	1		1					
			ケミカルバイオロジー特論Ⅰ	1-2前	1		1					
			ケミカルバイオロジー特論Ⅱ	1-2後	1		1					
			植物機能生化学特論	1-2前	1		1					
			バイオマス化学特論Ⅰ	1-2後	1		1					
			バイオマス化学特論Ⅱ	1-2前	1		1					
			生物物理化学特論	1-2後	1		1					
		食品科学科目群	食品分子機能化学特論Ⅰ	1-2前	1		1			1		
			食品分子機能化学特論Ⅱ	1-2後	1		1			1		
			食品栄養生理学特論	1-2前	1		1					
食品タンパク質機能学特論			1-2後	1		1						
食品衛生学特論			1-2前	1		1						
食品物理学・食品工学特論Ⅰ			1-2後	1		1						
応用生命科学コース	生命機能科学科目群	分子細胞生物学特論Ⅰ	1-2前	1		1						
		分子細胞生物学特論Ⅱ	1-2後	1		1		0				
		応用微生物学特論Ⅰ	1-2前	1		1		1				
		応用微生物学特論Ⅱ	1-2後	1		1		1				
		微生物生理学特論	1-2前	1		1						
		応用酵素化学特論Ⅰ	1-2後	1		1						
		応用酵素化学特論Ⅱ	1-2前	1		1						
		植物ゲノム科学科目群	分子植物ストレス応答学特論Ⅰ	1-2前	1		1					
	分子植物ストレス応答学特論Ⅱ		1-2後	1		1						
	植物細胞分子生物学特論		1-2前	1		1						
	分子植物病理学特論Ⅰ		1-2後	1		1						
	分子植物病理学特論Ⅱ		1-2前	1		1						
	分子植物栄養学特論		1-2後	1		1						
	専攻セミナー	専攻セミナーⅠ	1前	1			33	20		8		
専攻セミナーⅡ		1後	1			33	20		8			
専攻セミナーⅢ		2前	1			33	20		8			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任 兼任	
			必修 修	選択 修	自由 修	教 授	助 教 員	助 手	期 手		
専 攻 科 目	修士研究・論文	修士研究Ⅰ	1前	3			33	20	8		
		修士研究Ⅱ	1後	3			33	20	8		
		修士研究Ⅲ	2前	3			33	20	8		
		修士研究Ⅳ	2後	3			33	20	8		
		修士論文	2後	2			33	20	8		
	国際研究	国際研究A	1-2講		5		33	20	8		
		国際研究B	1-2講		8		33	20	8		
		実践研究	1-2講		8		33	20	8		
	小計(71科目)			-	17	81	402	243	94		9
	合計(83科目)			-	21	89	514	305	119		16
卒業要件及び履修方法											
基盤科目のうち基礎科目必修科目3単位、希少糖共通科目（必修科目1単位を含み2単位以上 ※希少糖先端科学コースのみ必修1科目を含み4単位）、展開科目選択1単位以上、専攻セミナー（3単位）、専門科目（コース指定4単位を含み7単位以上 ※希少糖先端科学コースのみコース指定4単位を含み5単位以上）、研究科目（14単位）、合計30単位以上修得すること。 ※なお、その他の専門科目として特別コースの専門科目を履修することができる。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- カリキュラムの調整を行った結果、「希少糖応用生命科学特論」の開講期を「1後」から「1前」に変更。
- カリキュラムの調整を行った結果、「希少糖食品科学特論」の開講期を「1後」から「1前」に変更。
- カリキュラムの調整を行った結果、「園芸資源生産学特論Ⅰ」の開講期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- カリキュラムの調整を行った結果、「浅海生産環境学特論」の開講期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- カリキュラムの調整を行った結果、「環境生態学特論Ⅱ」の開講期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- カリキュラムの調整を行った結果、「分子細胞生物学特論Ⅱ」の開講期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- カリキュラムの調整を行った結果、「分子植物ストレス応答学特論Ⅱ」の開講期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- カリキュラムの調整を行った結果、「植物細胞分子生物学特論」の開講期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- カリキュラムの調整を行った結果、「分子植物病理学特論Ⅰ」の開講期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- 兼任教員辞任の理由により、「希少糖応用生命科学特論」の兼任教員の配置を「4」から「3」に変更。
- 担当教員1名が准教授から教授に昇任した理由により、「希少糖食品科学特論」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に、また、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- 担当教員の辞任および准教授から教授への昇任の理由により、次の14科目の専任教員等の配置を「教授3・2」から「教授3・3」に、また、「准教授2・2」から「准教授2・0」に変更。
- 「修士インターンシップ」、「国際修士インターンシップ」、「国際研究実践コミュニケーション」、「専攻セミナーⅠ～Ⅲ」、「修士研究Ⅰ～Ⅳ」、「修士論文」、「国際研究A」、「国際研究B」、「実践研究」
- 担当教員が准教授から教授に昇任した理由により、「希少糖生産工学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- 担当教員1名が准教授から教授に昇任した理由により、「希少糖生産工学実習」の専任教員等の配置を「准教授3」から「教授1」「准教授2」に変更。
- 担当教員の分担を見直した結果、「動物生産科学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助教1」から「准教授1」に変更。
- 担当教員が准教授から教授に昇任した理由により、「応用微生物学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

【令和元年度】

- 担当教員1名が助教から准教授に昇任したため、「希少糖応用生命科学特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、また「助教1」から「助教0」に変更。
- カリキュラムの調整を行った結果、「資源植物利用学特論Ⅰ」の開講期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- カリキュラムの調整を行った結果、「園芸植物生理学特論Ⅰ」の開講期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- カリキュラムの調整を行った結果、「環境生態学特論Ⅰ」の開講期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- 担当教員1名が助教から准教授に昇任した理由により、「土壌環境学特論Ⅰ」と「土壌環境学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、また、「助教1」から「助教0」に変更。
- 担当教員1名が助教から准教授に昇任し、担当教員の分担を見直した結果、「食品分子機能化学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「准教授1」に変更。
- 担当教員の分担を見直した結果、「食品分子機能化学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」に変更。
- 担当教員が准教授から教授に昇任した理由により、「分子植物ストレス応答学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- 准教授から教授へ、また、助教から准教授への昇任により、次の14科目の専任教員等の配置を「教授3・2」から「教授3・4」に、「准教授2・3」に、また、「助教8」から「助教5」に変更。
- 「修士インターンシップ」、「国際修士インターンシップ」、「国際研究実践コミュニケーション」、「専攻セミナーⅠ～Ⅲ」、「修士研究Ⅰ～Ⅳ」、「修士論文」、「国際研究A」、「国際研究B」、「実践研究」

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
12 科目	71 科目	0 科目	83 科目	12 科目 [ ]	71 科目 [ ]	0 科目 [ ]	83 科目 [ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	未開講科目なし					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	廃止科目なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{83} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地の内、10,148㎡ を香川県より借用（毎年更新）			
	校 舎 敷 地	165,625㎡	0㎡	0㎡	165,625㎡				
	運 動 場 用 地	80,981㎡	0㎡	0㎡	80,981㎡				
	小 計	246,606㎡	0㎡	0㎡	246,606㎡				
	そ の 他	704,405㎡	0㎡	0㎡	704,405㎡				
	合 計	951,011㎡	0㎡	0㎡	951,011㎡				
(2) 校 舎	専 用	170,034㎡	0㎡	0㎡	170,034㎡				
		(170,034㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	(170,034㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	11室	8室	19室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
	演 習 室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	農学研究科 応用生物・希少糖科学専攻（修士課程）			61 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体  ※博物館資産登録済の 標本数は311 購入による増刷、汚破 損等による除籍(元)	
		農学研究科 応用生物・希少 糖科学専攻	873,572 [268,647] 868,430 [268,272]	23,334 [7,161] 25,545 [7,342]	5,521 [4,171] 5,566 [4,180]	9,201 9,120	0		1,033
		(873,572 [268,647]) (868,430 [268,272])	(23,334 [7,161]) (25,545 [7,342])	(5,521 [4,171]) (5,566 [4,180])	(9,201) (9,120)	(0)	(1,033)		
		計	873,572 [268,647] 868,430 [268,272]	23,334 [7,161] 25,545 [7,342]	5,521 [4,171] 5,566 [4,180]	9,201 9,120	0		1,033
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	11,506㎡		966席		1,104,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	5,577㎡		運動場 5面		テニスコート 14面				
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1人当たり研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
		共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生 1人当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		—							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	香川大学									備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
教育学部	年	人	年次人	人	学士(教育学)(教養学)	倍	年度	年度	年度	
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士(教育学)(教養学)	1.03	-	平成15	-	
人間発達環境課程	4	160	-	640	学士(教育学)(教養学)	1.03	-	平成15	香川県高松市幸町1番1号	平成30年より学生募集停止
	4	-	-	-	学士(教育学)(教養学)	-	-	平成15	同上	
法学部	4	160	3年次10	660	学士(法学)	1.04	-	平成15	-	
(昼夜開講制)										
法学科(昼)	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.08	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	上段は昼間コース、下段は夜間主コース
(夜)		10	-	40		0.55	-	平成15	同上	
経済学部	4	250	3年次20	1,040	学士(経済学)	1.02	-	平成30	-	上段は昼間コース、下段は、夜間主コース
(昼夜開講制)										
経済学科(昼)	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	-	平成15	同上	
経営システム学科(昼)	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	
(夜)		-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
地域社会システム学科(昼)	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
経済学科(昼)	4	240	3年次20	1,000	学士(経済学)	1.03	-	平成30	香川県高松市幸町2番1号	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
(夜)		10	-	40		0.75	-	平成30	同上	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
医学部	6	109	2年次5	609	学士(医学)	1.00	平成30	平成15	-	平成21・22・24・25・30年度収容定員増による学年進行平成31年度入学者に適用される学則上の収容定員を記載
	4	80	3年次10	340	学士(看護学)(臨床心理学)	1.04	-	平成15 平成30	-	
医学科	6	109	2年次5	609	学士(医学)	1.00	平成30	平成15	香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1	
看護学科	4	60	3年次10	260	学士(看護学)	1.04	-	平成15	同上	
臨床心理学科	4	20	-	80	学士(臨床心理学)	1.00	-	平成30	同上	
創造工学部	4	330	3年次20	1,360	学士(工学)	1.03	-	平成30	-	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
創造工学科	4	330	3年次20	1,360	学士(工学)	1.03	-	平成30	香川県高松市林町2217番地20	
工学部	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成15	-	平成30年より学生募集停止
安全システム建設工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成15	香川県高松市林町2217番地20	
電子・情報工学科	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	
知能機械システム工学科	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	
材料創造工学科	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	
農学部	4	150	-	600	学士(農学)	1.03	-	平成18	-	香川県木田郡三木町大字池戸2393番地
応用生物科学科	4	150	-	600	学士(農学)	1.03	-	平成18		
大学全体(学部)	4	1,130	3年次60	4,640	-	1.03	-	-	-	
	6	109	2年次5	609	-	1.00	-	-	-	

大学の名称	香川大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
<b>教育学研究科</b>										
修士課程	2	37	-	74	修士(教育学)	0.51	-	平成15	-	
学校教育専攻	2	12	-	24	修士(教育学)	0.58	-	平成15	香川県高松市幸町1番1号	
教科教育専攻	2	18	-	36		0.52	-	平成15	同上	
学校臨床心理専攻	2	7	-	14		0.35	-	平成15	同上	
専門職学位課程	2	14	-	28	教職修士(専門職)	1.17	-	平成28	-	
高度教職実践専攻	2	14	-	28	教職修士(専門職)	1.17	-	平成28	同上	
<b>法学研究科</b>	2	8	-	16	修士(法学)	0.87	-	平成15	-	
修士課程										
法律学専攻	2	8	-	16	修士(法学)	0.87	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	
<b>経済学研究科</b>	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	-	平成15	-	
修士課程										
経済学専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.60	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	
<b>医学系研究科</b>										
修士課程	2	16	-	32	修士(看護学)	0.65	-	平成15	-	
看護学専攻	2	16	-	32	修士(看護学)	0.65	-	平成15	香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1	
博士課程	4	30	-	120	博士(医学)	1.12	-	平成28	-	
機能構築医学専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	-	平成15	同上	平成28年より学生募集停止
分子情報制御医学専攻	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成28年より学生募集停止
社会環境病態医学専攻	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成28年より学生募集停止
医学専攻	4	30	-	120		1.12	-	平成28	同上	平成27年度事前伺い平成28年4月設置
<b>工学研究科</b>										
博士前期課程	2	78	-	156	修士(工学)	1.34	-	平成15	-	
安全システム建設工学専攻	2	18	-	36	修士(工学)	0.63	-	平成15	香川県高松市林町2217番地20	
信頼性情報システム工学専攻	2	24	-	48		1.20	-	平成15	同上	
知能機械システム工学専攻	2	18	-	36		1.80	-	平成15	同上	
材料創造工学専攻	2	18	-	36		1.80	-	平成15	同上	
博士後期課程	3	22	-	66	博士(工学)	0.46	-	平成16	-	
安全システム建設工学専攻	3	5	-	15	博士(工学)	0.60	-	平成16	同上	
信頼性情報システム工学専攻	3	7	-	21		0.14	-	平成16	同上	
知能機械システム工学専攻	3	5	-	15		0.93	-	平成16	同上	
材料創造工学専攻	3	5	-	15		0.33	-	平成16	同上	
<b>農学研究科</b>	2	60	-	120	修士(農学)	0.91	-	平成30	-	
修士課程										
生物資源生産学専攻	2	-	-	-	修士(農学)	-	-	平成18	香川県木田郡三木町大字池戸2393番地	平成30年より学生募集停止
生物資源利用学専攻	2	-	-	-		-	-	平成18	同上	平成30年より学生募集停止
応用生物・希少糖科学専攻	2	60	-	120	修士(農学)	0.91	-	平成30	同上	平成29年度事前伺い平成30年4月設置

大学の名称	香川大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
地域マネジメント研究科	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	0.93	-	平成16	-	
専門職学位課程 地域マネジメント 専攻	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	0.93	-	平成16	香川県高松市幸 町2番1号	
大学全体（大学院）	2	253	-	506	-	0.97	-	-	-	
	3	22	-	66	-	0.46	-	-	-	
	4	30	-	120	-	1.12	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<農学研究科 応用生物・希少糖科学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片山健至 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII バイオマス化学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		片岡郁雄 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 園芸資源生産学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	麻田恭彦 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖応用生命科学特論 応用酵素化学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		合谷祥一 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖食品科学特論 食品物理学・食品工学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片山健至 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII バイオマス化学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	麻田恭彦 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖応用生命科学特論 応用酵素化学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	合谷祥一 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖食品科学特論 食品物理学・食品工学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片山健至 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII バイオマス化学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	麻田恭彦 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖応用生命科学特論 応用酵素化学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	合谷祥一 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖食品科学特論 食品物理学・食品工学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川浪康弘 <平成30年4月> 博士(理学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖植物科学特論 ケミカルバイオロジー特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		吉井英文 <平成30年4月> 博士(工学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖物性化学特論 食品物理学・食品工学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	藤田政之 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子植物ストレス応答学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		深井誠一 <平成30年4月> 博士(農学)
		科学研究リテラシー 応用生物学クロストークセミナー 応用生物学先進科学セミナー 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸資源利用学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川浪康弘 <平成30年4月> 博士(理学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖植物科学特論 ケミカルバイオロジー特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		吉井英文 <平成30年4月> 博士(工学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖物性化学特論 食品物理学・食品工学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	藤田政之 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子植物ストレス応答学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		深井誠一 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸資源利用学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川浪康弘 <平成30年4月> 博士(理学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖植物科学特論 ケミカルバイオロジー特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		吉井英文 <平成30年4月> 博士(工学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖物性化学特論 食品物理学・食品工学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	藤田政之 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 分子植物ストレス応答学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		深井誠一 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 園芸資源利用学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳智博 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 園芸資源利用学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	多田邦尚 <平成30年4月> 博士(水産学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 海洋科学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	深田和宏 <平成30年4月> 博士(理学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖物性化学特論 生物物理化学特論 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	櫻庭春彦 <平成30年4月> 博士(歯学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖応用生命科学特論 応用酵素化学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳智博 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 園芸資源利用学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	多田邦尚 <平成30年4月> 博士(水産学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 海洋科学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	深田和宏 <平成30年4月> 博士(理学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖物性化学特論 生物物理化学特論 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	櫻庭春彦 <平成30年4月> 博士(歯学)
		応用生物学クロストークセミナー 応用生物学先進科学セミナー 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖応用生命科学特論 応用酵素化学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳智博 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 園芸資源利用学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	多田邦尚 <平成30年4月> 博士(水産学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 海洋科学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	深田和宏 <平成30年4月> 博士(理学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖物性化学特論 生物物理化学特論 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	教授	櫻庭春彦 <平成30年4月> 博士(歯学)
		応用生物学クロストークセミナー 応用生物学先進科学セミナー 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖応用生命科学特論 応用酵素化学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究









専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	<p>亀山宏</p> <p>&lt;平成30年4月&gt; 博士(農学)</p> <p>修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 農業経営経済学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		高田悟郎 <平成30年4月> 博士(農学)
専	教授	<p>修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖生産工学特論I 希少糖生産工学実習 希少糖食品科学特論 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究</p>
		渡邊彰 <平成30年4月> 博士(農学)
専	教授	<p>修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 応用微生物学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究</p>
専	准教授	<p>亀山宏</p> <p>&lt;平成30年4月&gt; 博士(農学)</p> <p>修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 農業経営経済学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		高田悟郎 <平成30年4月> 博士(農学)
専	教授	<p><b>科学研究リテラシー</b> 修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖生産工学特論I 希少糖生産工学実習 希少糖食品科学特論 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究</p>
		渡邊彰 <平成30年4月> 博士(農学)
専	教授	<p>修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 応用微生物学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究</p>
		市村和也 <平成30年4月> 博士(理学)
専	教授	<p>修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 分子植物ストレス応答学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究</p>
		亀山宏 <平成30年4月> 博士(農学)
専	准教授	<p>修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 農業経営経済学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究</p>



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田悟郎 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖生産工学特論I 希少糖生産工学実習 希少糖食品科学特論 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	小林剛 <平成30年4月> 博士(理学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 環境生態学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	渡邊彰 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 応用微生物学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	武藤幸雄 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 農業経営経済学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小林剛 <平成30年4月> 博士(理学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 環境生態学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	武藤幸雄 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 農業経営経済学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小林剛 <平成30年4月> 博士(理学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 環境生態学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	武藤幸雄 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 農業経営経済学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	五味剣二 <平成30年4月> 博士(学術)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 分子植物病理学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	山口一岩 <平成30年4月> 博士(水産科学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 海洋科学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	鳴海貴子 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 園芸資源開発学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	柳田亮 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖物性化学特論 ケミカルバイオロジー特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	五味剣二 <平成30年4月> 博士(学術)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 分子植物病理学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	山口一岩 <平成30年4月> 博士(水産科学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 海洋科学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	鳴海貴子 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 園芸資源開発学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	柳田亮 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖物性化学特論 ケミカルバイオロジー特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	五味剣二 <平成30年4月> 博士(学術)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 分子植物病理学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	山口一岩 <平成30年4月> 博士(水産科学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 海洋科学特論I 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	鳴海貴子 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 園芸資源開発学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	柳田亮 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 希少糖物性化学特論 ケミカルバイオロジー特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉原明秀 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖生産工学実習 希少糖食品科学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉原明秀 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖生産工学実習 希少糖食品科学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉原明秀 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖生産工学実習 希少糖食品科学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
		米倉リナ <平成30年4月> 博士(学術)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 食品分子機能化学特論Ⅰ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	豊田 勉 <平成30年4月> 博士(環境学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 土壌環境学特論Ⅰ 土壌環境学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	准教授	杉山康憲 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖応用生命科学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	池田滋 <平成30年4月> 修士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 分子植物育種学特論 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	米倉リナ <平成30年4月> 博士(学術)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 食品分子機能化学特論I 食品分子機能化学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	望月進 <平成30年4月> 博士(理学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	豊田鮎 <平成30年4月> 博士(環境学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 土壌環境学特論I 土壌環境学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	池田滋 <平成30年4月> 修士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 分子植物育種学特論 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	米倉リナ <平成30年4月> 博士(学術)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 食品分子機能化学特論I 食品分子機能化学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	望月進 <平成30年4月> 博士(理学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	豊田鮎 <平成30年4月> 博士(環境学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 土壌環境学特論I 土壌環境学特論II 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	池田滋 <平成30年4月> 修士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 分子植物育種学特論 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	
専	助教	望月進 <平成30年4月> 博士(理学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーI 専攻セミナーII 専攻セミナーIII 修士研究I 修士研究II 修士研究III 修士研究IV 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専	助教	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		KONG LINGBING <平成30年4月> Ph. D.
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専 助教		加藤志郎 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専 助教		杉山康憲 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖応用生命科学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専 助教		川崎浄教 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 動物性産科学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
兼任 教授		何森健 <平成30年4月> 博士(農学)
		希少糖イノベーション グライコバイオロジー特論
兼任 教授		早川茂 <平成30年4月> 博士(農学)
		希少糖食品科学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		KONG LINGBING <平成30年4月> Ph. D.
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専 助教		加藤志郎 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専 助教		杉山康憲 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 希少糖応用生命科学特論 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専 助教		川崎浄教 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 動物性産科学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
兼任 教授		何森健 <平成30年4月> 博士(農学)
		希少糖イノベーション グライコバイオロジー特論
兼任 教授		早川茂 <平成30年4月> 博士(農学)
		希少糖食品科学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		KONG LINGBING <平成30年4月> Ph. D.
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専 助教		加藤志郎 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
専 助教		川崎浄教 <平成30年4月> 博士(農学)
		修士インターンシップ 国際修士インターンシップ 国際研究実践コミュニケーション 専攻セミナーⅠ 専攻セミナーⅡ 専攻セミナーⅢ 動物性産科学特論Ⅱ 修士研究Ⅰ 修士研究Ⅱ 修士研究Ⅲ 修士研究Ⅳ 修士論文 国際研究A 国際研究B 実践研究
兼任 教授		何森健 <平成30年4月> 博士(農学)
		希少糖イノベーション グライコバイオロジー特論
兼任 教授		早川茂 <平成30年4月> 博士(農学)
		希少糖食品科学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	神鳥成弘 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		グライコバイオロジー特論
兼任	教授	村尾孝児 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		希少糖応用生命科学特論
兼任	教授	石井知彦 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		希少糖物性化学特論
兼任	准教授	LUTES PETER GERALD ＜平成30年4月＞ 修士(応用言語学)
		ベーシック国際研究コミュニケーション アドバンスド国際研究コミュニケーション
兼任	准教授	中北慎一 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		グライコバイオロジー特論
兼任	准教授	吉田裕美 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		グライコバイオロジー特論
兼任	准教授	松岡久美 ＜平成30年4月＞ 博士(経営学)
		希少糖ビジネス特論
兼任	准教授	向渝 ＜平成30年4月＞ 修士(経営学)
		希少糖ビジネス特論
兼任	准教授	大杉奉代 ＜平成30年4月＞ 修士(マネジメント)
		希少糖ビジネス特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	神鳥成弘 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		グライコバイオロジー特論
兼任	教授	村尾孝児 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		希少糖応用生命科学特論
兼任	教授	石井知彦 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		希少糖物性化学特論
兼任	教授	片岡郁雄 ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		園芸資源生産学特論 I
兼任	准教授	LUTES PETER GERALD ＜平成30年4月＞ 修士(応用言語学)
		ベーシック国際研究コミュニケーション アドバンスド国際研究コミュニケーション
兼任	准教授	中北慎一 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		グライコバイオロジー特論
兼任	准教授	吉田裕美 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		グライコバイオロジー特論
兼任	准教授	松岡久美 ＜平成30年4月＞ 博士(経営学)
		希少糖ビジネス特論
兼任	准教授	向渝 ＜平成30年4月＞ 修士(経営学)
		希少糖ビジネス特論
兼任	准教授	大杉奉代 ＜平成30年4月＞ 修士(マネジメント)
		希少糖ビジネス特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	神鳥成弘 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		グライコバイオロジー特論
兼任	教授	村尾孝児 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		希少糖応用生命科学特論
兼任	教授	石井知彦 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		希少糖物性化学特論
兼任	教授	片岡郁雄 ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		園芸資源生産学特論 I
兼任	准教授	LUTES PETER GERALD ＜平成30年4月＞ 修士(応用言語学)
		ベーシック国際研究コミュニケーション アドバンスド国際研究コミュニケーション
兼任	准教授	中北慎一 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		グライコバイオロジー特論
兼任	准教授	吉田裕美 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		グライコバイオロジー特論
兼任	准教授	松岡久美 ＜平成30年4月＞ 博士(経営学)
		希少糖ビジネス特論
兼任	准教授	向渝 ＜平成30年4月＞ 修士(経営学)
		希少糖ビジネス特論
兼任	准教授	大杉奉代 ＜平成30年4月＞ 修士(マネジメント)
		希少糖ビジネス特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	仲山賢一 ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		希少糖応用生命科学特論
兼任	教授	中島芳浩 ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		希少糖応用生命科学特論
兼任	准教授	安部博子 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		希少糖応用生命科学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中島芳浩 ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		希少糖応用生命科学特論
兼任	准教授	安部博子 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		希少糖応用生命科学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中島芳浩 ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		希少糖応用生命科学特論
兼任	准教授	安部博子 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		希少糖応用生命科学特論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・片岡郁雄教授が理事に就任したため専任教員から外れた。担当科目「園芸資源生産学特論Ⅰ」については後期集中講義で開講する。
- ・高田悟郎准教授が平成30年4月1日付けで教授に昇任。
- ・渡邊彰准教授が平成30年4月1日付けで教授に昇任。
- ・仲山賢一教授(兼任)が辞任。

【令和元年度】

- ・市村和也准教授が平成31年4月1日付けで教授に昇任。
- ・豊田鮎助が平成31年2月1日付けで准教授に昇任。
- ・米倉リナ助教が平成31年3月1日付けで准教授に昇任。
- ・杉山康憲助教が令和元年5月1日付けで准教授に昇任。
- ・担当教員の分担を見直した結果、「食品分子機能化学特論Ⅰ」は、米倉リナ准教授1名で担当することになった。
- ・担当教員の分担を見直した結果、「食品分子機能化学特論Ⅱ」は、田村啓敏教授1名で担当することになった。
- ・「科学研究リテラシー」は、カリキュラム委員長が担当することになっており、今年度は、高田悟郎教授の担当となった。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
9	6	-
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
32	22	0	8	62	34	22	0	5	61
(33)	(20)	(0)	(8)	(61)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
60	2	0			59	2	0		
(59)	(2)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
34	22	0	5	61	34	22	0	5	61
[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ3 ]	[ Δ1 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ3 ]	[ Δ1 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
59	2	0			59	2	0		
[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員の うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{61}{62} = \boxed{98.38} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{61} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	片岡 郁雄	H29.10	選択	修士インターンシップ	③	H29.10理事就任のため未就任(30)						
				選択	国際修士インターンシップ	③							
				選択	国際研究実践コミュニケーション	③							
				必修	専攻セミナーⅠ	③							
				必修	専攻セミナーⅡ	③							
				必修	専攻セミナーⅢ	③							
				必修	修士研究Ⅰ	③							
				必修	修士研究Ⅱ	③							
				必修	修士研究Ⅲ	③							
				必修	修士研究Ⅳ	③							
				必修	修士論文	③							
				選択	国際研究A	③							
				選択	国際研究B	③							
				選択	実践研究	③							
選択	園芸資源生産学特論Ⅰ	②											
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	8	科目
		選択	7	科目	選択	0	科目	選択	1	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	0	科目	計	1	科目	計	14	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	8	科目
		選択	7	科目	選択	0	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	0	科目	計	14	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{62} = \boxed{1.61} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>研究指導に関わる科目については、対象となる学生がいないため、支障はないと考える。ただし、講義科目については、兼任として担当する。</p>
---

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">                     該当なし                 </div>		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<大学院農学研究科 応用生物・希少糖科学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div data-bbox="504 490 1083 622" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">該当なし</p> </div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の農学部専門委員会を設置 評価委員会・カリキュラム委員会・学生支援委員会・アドミッション委員会・国際交流委員会・研究推進委員会・安全衛生委員会</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会は、月1回のペースで開催</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【評価委員会】教員の自己点検・評価に関すること</li> <li>・【カリキュラム委員会】教育課程の検討・実施に関すること</li> <li>・【学生支援委員会】学生支援に関すること</li> <li>・【アドミッション委員会】入学試験の実施・改善に関すること</li> <li>・【国際交流委員会】国際交流活動等に関すること</li> <li>・【研究推進委員会】外部資金申請ほか研究支援に関すること</li> <li>・【安全衛生委員会】安全衛生、リスクアセスメントに関すること</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会主催のFDを、必要に応じ年1～2回実施予定 教員の教育・研究・管理運営等の資質を維持向上すべくテーマを設定し、FDを実施する</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">※平成30年度における実施状況（以下を継続的に実施）</p>
--

【カリキュラム委員会】

- ①日時：平成30年7月19日（木）教授会終了後に開催（60分程度）  
内容：講演「機能分子合成化学の取り組みについて」  
参加者：43名
- ②日時：平成31年1月17日（木）16:00～（60分程度）  
内容：講演「徳島大学生物資源産業学部におけるアクティブラーニングの取り組み」  
参加者：32名

【学生支援委員会】

- ①日時：平成30年9月20日（木）教授会終了後に開催（60分程度）  
内容：講演「発達障害のある学生への必要な支援」  
参加者：39名

【アドミッション委員会】

- ①日時：平成30年11月15日（木）教授会終了後に開催（90分程度）  
内容：講演「農学部入試の推移・現状」  
：講演「2021年度以降の国立大学を中心とした入学者選抜制度改革について」  
～高大接続改革の一環として実施される本改革の香川大学農学部検討事項～  
参加者：44名
- ②日時：平成31年3月22日（金）教授会終了後に開催（90分程度）  
内容：講演「A0入試のエッセイ等の書類審査における評価基準の設定方法について」（仮）  
講演「昨年度で廃止された後期入試について」  
参加者：45名

【農学部授業公開FD】

- ①日時：平成30年11月15日（木） 10:30～（2校時）  
担当教員・授業名：松本 由樹、川崎 淨教「畜産学」  
参加者：3名
- ②日時：平成30年12月5日（水） 8:50～（1校時）  
担当教員・授業名：高村 武二郎「植物品種開発学」  
参加者：2名

【安全衛生委員会】

- ①日時：平成30年6月28日（木）16:00～（約30分）  
内容：化学物質のリスクアセスメントの実施方法について  
参加者：52名

b 実施方法

各委員会が必要と判断し設定したテーマについて、学部内外から講師を招き、講演会・研修会として実施する

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成30年度の要領で実施予定（参考／平成30年度FD実績）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

該当なし

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

隔年で1年生を対象に1～2月実施（カリキュラムアンケート）  
毎年9月頃（AAP修了予定者アンケート）

b 教員や学生への公開状況、方法等

未公開

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教員配置、教育課程の編成、施設・設備の整備、香川県、他学部（研究科）、産業技術総合研究所（連携大学院制度採用）との連携等、概ね計画どおりに進捗した。

平成31年度には、入学定員60名に対し53名（うち、外国人留学生1名（私費1名）、他大学から1名）の入学者を得た。また、令和元年10月には、留学生4名（私費4名）の入学が予定している他、ダブルディグリープログラム（出願期間2019.6.10～6.21）及び、アジア・アフリカ・環太平洋留学生特別コース（AAP）（出願期間中）の募集があることから定員60名は満たされる予定である。

今年度も他大学からの入学者を得たことは、今回の改組の趣旨及び新専攻の教育・研究内容に興味を示してもらえたものとする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年度に自己点検評価（大学全体）を実施・公表（予定）

b 公表方法

- ・大学ホームページに公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和4年度に機関別認証評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 ( 有 ・ 無 )

b 公表有の場合の公表（予定）時期 ( 令和元年8月1日 )

b 公表無の場合の特段の理由 ( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。